

おうちでできる 草木染め



はいさい！さあたあやいびん。
むらさき、きいろ、ベージュ、ピンク…。
すべて天然の材料を使った、草木染め☆
染料は、野菜や果物の皮、庭先にある草花。
身のまわりにある材料を使って、
きょうは親子で「染めて」みませんか？

◆◆◆用意するもの◆◆◆



- ビー玉
- ミウパン
- 牛乳
- 輪ゴム
- わりばし
- 白い布巾(木綿)

◆◆◆染料になるもの◆◆◆



- 月桃(葉・茎)
- ヨモギ
- タマネギの皮
- コーヒー殻
- ナツミカンの皮
- ナスの皮 + ブドウの皮 + 赤ワイン

◆◆◆では、染めてみましょう！◆◆◆



【①】布巾の下準備

木綿の布巾を、牛乳に1時間以上漬けておきます。
漬け終わったら牛乳をしぼって、そのままよく乾かします。

※天然の色素は「タンパク質」によく付きます。
よくしみこませることで
牛乳のタンパク質を布巾の繊維にまとわせ、
染料の色づきを良くするためです。





【②】 染料の色素を煮出す

今回の「遊びの達人」では、**タマネギの皮**を染料にしました。布巾2枚を染めるのにタマネギ6個分の皮をむき、鍋で20分間煮込み、色が出たら皮を鍋から除きます。



※きれいな「紅茶色」の染料液ができました！



【③】 模様を入れてみる

染め上げた時に模様が出るようにしてみましょう。布巾でビー玉をくるみ、輪ゴムで強く縛ります。縛った所が染まらずに白いまま残り、模様が浮かびます。わりばしで挟んで両端を縛ると、別の模様ができます。この模様のつけ方を「**絞り**」といいます。



【④】 布巾を染める

タマネギの皮を煮出した液で20分間、布巾を煮込みます。



【⑤】 ミョウバン液を作る

仕上げに使う「ミョウバン液」を作りましょう。少しの湯にミョウバンを溶かします。それをたっぷりの水に加えます。水2リットルに対してミョウバン3グラムが目安。



【⑥】 布巾をミョウバン液に浸す

染めた布巾を水洗いし、ミョウバン液に20分間浸します。染料の色づきを良くし、色が落ちにくくするためです。



完成！

鮮やかな黄色に染まりました。
 絞りの模様もくっきり。ふたつと同じものはありません。
 自分だけのハンカチを染めたら、
 毎日の手洗いが少し楽しみになるかも！

◆◆◆身のまわりの染料あれこれ◆◆◆



【コーヒー殻(イスタココーヒーも可)】 【タマネギの皮】



【ナツミカンの皮】 【ナスの皮+ブドウの皮+赤ワイン】



【ヨモギ】



【月桃(茎)】 【月桃(茎+葉)】

※ヨモギと月桃は、鍋で煮込む時に**重曹**を入れると、色づきが良くなります。



教えてくれたのは… **張本文昭さん**

沖縄県立芸術大学 准教授
 アウトドアの専門家です！